

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-7_地域コミュニティの充実

基本計画		事業番号	細事業名称
5-07-01	地域コミュニティ活動への支援	02123_01	自治会館及び施設建設補助金
5-07-01	地域コミュニティ活動への支援	02123_04	コミュニティ助成事業
5-07-01	地域コミュニティ活動への支援	02486_01	防犯灯LED化整備事業
5-07-01	地域コミュニティ活動への支援	02486_02	防犯灯設備整備事業補助金
5-07-01	地域コミュニティ活動への支援	02541_01	自治会館耐震対策事業
5-07-01	地域コミュニティ活動への支援	02608_01	ボランティア活動推進事業
5-07-01	地域コミュニティ活動への支援	03519_01	敬老地域ふれあい事業
5-07-01	地域コミュニティ活動への支援	07028_18	大島秋祭り活性化支援補助金
5-07-02	地域再生への体制づくり	02371_03	地域コミュニティ再生事業
5-07-02	地域再生への体制づくり	02474_01	地域おこし協力隊推進事業
5-07-02	地域再生への体制づくり	02474_02	地域おこし協力隊推進事業補助金
5-07-02	地域再生への体制づくり	02510_04	協議会型地域運営組織モデル事業
5-07-02	地域再生への体制づくり	07193_01	別子山未来プロジェクト事業補助金

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02123_01			
事業名(行目名称)		コミュニティ施設整備事業	細事業名	自治会館及び施設建設補助金				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実				
	基本計画	地域コミュニティ活動への支援	担当課	地域コミュニティ課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内自治会数	数値	300				
	手段(どうやって)	集会所施設整備(集会所施設の増築及び倉庫等附帯施設の整備、集会所施設の改修及び修繕、集会所施設の倉庫等附帯施設の改修及び修繕)、放送施設整備(電柱及び放送小屋の新設、増設及び修繕、放送設備の新設、増設及び修繕並びに配線改良)、掲示板整備(掲示板の新設、増設及び修繕)の事業を対象として、補助金を交付する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域住民の自治組織が行う集会所施設等の整備に対して、予算の範囲内において補助金を交付することにより、コミュニティ活動の推進を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		7,257	10,000	10,000	8,579			
財源	県・国支出金	0	0	0	0	集会所修繕 8,308 掲示板 250 放送設備 1,442		
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	7,257	10,000	10,000	8,579			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
対応度(補助件数/要望件数)			目標値	80	80	70	70	65
			実績	80.8	58.8	24	48	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
昨年の予算要望時に自治会から工事予定を提出してもらい、緊急対応分を加味して予算化している。自治会からの申請状況を確認しながら、適正な予算執行に努めている。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
自治会からの来年度修繕要望をもとに、予算要求を行う予定であるが、エアコンの故障や放送設備の修繕などの緊急対応分の予算額を見込んでいる。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
令和2年度以降については新型コロナウイルス感染症の影響で、自治会の予算も逼迫したことにより修繕予定の工事の中止が見受けられるが、集会所施設や放送施設の老朽化が進んでおり、緊急で修繕が必要な施設に十分に対応できる予算の確保が必要である。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02123_04		
事業名(行目名称)		コミュニティ施設整備事業	細事業名	コミュニティ助成事業			
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実			
	基本計画	地域コミュニティ活動への支援	担当課	地域コミュニティ課			
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	市内自治会数	数値	304			
	手 段 (どうやって)	計画的な自治会館等の新築又は建替え事業を実施する。自治総合センター助成金(宝くじ助成金)の活用を図るなどして、今後も1年度1件の事業を継続する。					
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	従来からの自治会活動のみならず、今後一層期待される自主防災機能、地域福祉活動の拠点となる施設を整備することにより、地域コミュニティ活動のより一層の活性化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		9,900	15,000	15,000	15,000	補助金15,000千円	
財 源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	9,900	15,000	15,000	15,000		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指 標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
対応度(補助件数/要望件数)		目標値	100	100	100	100	0
		実績	100	100	100	100	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
市内の自治会館の多くが老朽化してきており、修繕あるいは建て替えの需要が増している。その一方で、自治会加入率が低下している現状においては、費用負担が自治会に重くのしかかっている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
引き続き、自治総合センターの助成事業等を活用しながら計画的にコミュニティ施設の整備を行っていきたいと考えるが、現状で来年度実施希望自治会がないため、来年度当初予算要求については見送ることとする。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
自治会館等の建て替え要望に対し、自治総合センターの助成事業等を活用して整備を図り、良好なコミュニティ施設の維持管理を進める必要がある。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02486_01		
事業名(行目名称)		防犯灯LED化整備事業費	細事業名	防犯灯LED化整備事業			
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実			
	基本計画	地域コミュニティ活動への支援	担当課	地域コミュニティ課			
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	リース契約灯数	数値	9200			
	手段 (どうやって)	平成26年12月から10年間、リース契約している9,200灯分の防犯灯の維持管理費を全額市の負担で業者に支払う。					
	目的 (どんな状態にしたいのか)	市民の安全性を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	器具借上料 19,249千円	
経費		19,249	19,250	19,250	19,249		
財 源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	19,249	19,250	19,250	19,249		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
リース契約灯数		目標値	9200	9200	9200	9200	9200
		実績	9200	9200	9200	9200	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
防犯灯が適切に維持管理されることで、市民の安全性が確保されているが、現在のリース契約が満了した後の扱いについて方針を検討しなければならない。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
引き続き市の負担により防犯灯の維持管理を行い、安全安心のまちづくりを進める。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
防犯灯の設置により、市民の安心安全な生活を確保することができた。 現在のリース契約が令和6年11月末までとなっていることから、令和5年度上半期に今後の方針決定を行えるよう準備する。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	02486_02		
事業名(行目名称)		防犯灯LED化整備事業費		細事業名 防犯灯設備整備事業補助金				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策 地域コミュニティの充実				
	基本計画	地域コミュニティ活動への支援		担当課 地域コミュニティ課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内自治会数			数値	300		
	手段(どうやって)	防犯灯整備(LED照明器具の新設及び支柱の更新、修繕等)の事業を対象として、補助金を交付する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域住民の自治組織が行う防犯灯の整備に対して、予算の範囲内において補助金を交付することにより、地域安全の向上を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		647	1,010	1,010	708			
財源	県・国支出金	0	0	0	0	LED防犯灯新設・移設 48灯 支柱更新 5本		
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	647	1,010	1,010	708			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
対応度(補助件数/要望件数)			目標値	100	100	27	53	60
			実績	100	100	25	46	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新たに達成された宅地への新設や民家の軒下等に設置されている防犯灯の移設の要望があるため、事業を継続する必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
安心安全のまちづくりのため、事業を継続する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
防犯灯の設置により安全安心な生活が実現された。今後においても適正に事業を継続していく。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02541_01		
事業名(行目名称)		自治会館耐震対策事業	細事業名	自治会館耐震対策事業			
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実			
	基本計画	地域コミュニティ活動への支援	担当課	地域コミュニティ課			
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	旧耐震基準で建築された集会所		数値	75		
	手 段 (どうやって)	自治会館の耐震化に伴う整備事業(耐震診断、耐震改修設計、耐震改修工事、耐震改修工事監理)を対象として、補助金を交付する。					
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	地域住民の自治組織が行う自治会館の耐震化整備等に対して、予算の範囲内において補助金を交付することにより、コミュニティ活動の推進とともに地域の防災力の向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	耐震対策補助金 6,000千円	
経費		0	6,000	6,000	0		
財 源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	6,000	6,000	0		
IV 指 標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
耐震診断実施自治会館数		目標値	—	5	5	5	5
		実績	—	0	0	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
耐震診断の問い合わせはあるものの、補助申請にいたる自治会はない。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
地域防災力の向上と避難施設の拡大のため、耐震対策事業に対する補助率及び補助金額の増額が必要である。また、耐震性がない自治会館の建て替えを推奨する必要がある。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)		D:事業の統合・休廃止を検討			
耐震診断、耐震工事等の実績が乏しいことから、今後は自治会の要望等も踏まえながら自治会館等コミュニティ施設の新設、建て替えにおける市からの補助率等の見直しを行い、コミュニティ施設の良好な維持管理に努めるものとする。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	02608_01		
事業名(行目名称)		ボランティア活動推進事業費		細事業名	ボランティア活動推進事業			
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	地域コミュニティの充実			
	基本計画	地域コミュニティ活動への支援		担当課	地域コミュニティ課			
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	市民			数値	10,000人		
	手段(どうやって)	ボランティア活動に参加しやすく、また継続的な活動ができるように、ボランティアに関する情報の集約、発信を行うとともに、ボランティア活動にあかがねポイントを付与し、参加者のインセンティブやモチベーションの維持、強化を図る。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民の社会貢献活動の参加促進を図り、地域課題を自らの問題として主体的に行動し、解決していく社会の実現と人材の育成を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		0	2,278	2,278	287	印刷製本費(カード制作) 68千円 役務費(ボランティア保険) 35千円 使用料(まいぷれ等使用料) 175千円 負担金(ポイント事業負担金) 2,000千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	0	2,278	2,278	287			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
付与ポイント数			目標値	—	0	1000000	2000000	2000000
			実績	—	0	62400	66200	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルスの影響により、市民活動全般が活動ができない停滞期にあり、ボランティアを募集する登録団体、ボランティアの参加者も伸び悩んでいる状況である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
日常生活に戻つつある中で、市民活動やボランティア活動も徐々に従来の活動に戻ることが推察され、今後も引き続き、様々な地域課題解決に向けてボランティアや市民活動の参加者のすそ野を広げていき、活動の活性化を図る必要がある。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討					
新型コロナウイルスの影響もあり、ボランティア参加者が伸び悩んだことから、ポイント発行数は低調であった。令和3年度の実施状況を検証し、令和5年度からの事業の在り方を検討したい。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	03519_01
事業名(行目名称)		敬老地域ふれあい事業費		細事業名 敬老地域ふれあい事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策 地域コミュニティの充実		
	基本計画	地域コミュニティ活動への支援		担当課 介護福祉課		
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	70歳以上の高齢者			数値	29,741人
	手段(どうやって)	自治会等が主催する敬老会に出席した70歳以上の人数により交付金を交付する。				
	目的(どんな状態にしたいのか)	高齢者が地域で集える場づくりを支援するとともに、地域住民との交流を活性化させ、高齢者の社会参加促進を推進する。				
III 投入費用						
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		4,342	9,924	9,924	3,969	交付決定通知書等郵送代 @84×(143単位自治会+16施設)=14千円 交付金(自治会) 人数割 @1,000×6,600人=6,600千円 均等割 @20,000×143自治会=2,860千円 交付金(施設) 人数割 @1,000×450人=450千円
財源	県・国支出金	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	
	その他	4,342	9,924	9,924	3,969	
	一般財源	0	0	0	0	
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度
敬老事業開催数			目標値	160	160	160
			実績	161	68	23
V 事中評価						
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			やや高い
敬老事業について、新型コロナウイルス感染症対策のため三密を避ける必要性もあり、現状、高齢者参加型の敬老事業開催がやや難しい傾向にあり、開催数が減少している。						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持			
高齢者が地域で集える場づくりを支援するとともに、地域住民との交流を活性化させ、高齢者の社会参加促進を推進するために、今後も敬老事業が開催される場合には、事業を継続する必要がある。						
VI 事後評価						
成果		総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当		
高齢者が地域で集える場づくりを支援するとともに、地域住民との交流を活性化させ、高齢者の社会参加促進を推進するために必要な事業であるので、コロナ禍のなか様々な制限があるが、今後も事業を継続する。						

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	07028_18	
事業名(行目名称)		観光事業推進費	細事業名	大島秋祭り活性化支援補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実			
	基本計画	地域コミュニティ活動への支援	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民、主として大島に縁がある市民及び市外からの観光客		数値	500		
	手段(どうやって)	大島秋祭りの活性化に向けた支援					
	目的(どんな状態にしたいのか)	大島秋祭りを活用した大島地区の地域活性化及び観光振興の推進					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			200	0	0	200千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他		0	0	0		
	一般財源		200	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
祭り期間の来島者数			目標値	500	500	500	500
			実績		0	0	0
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、山車等の運行によるイベント開催の中止が決定している。また、代替イベントの予定もなし。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
来年度予算については、通常開催の予定であるため引き続き事業を進めていくこととする。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染拡大防止の観点から運行が中止されたが、地元としても賑やかで楽しい祭りを実施したいという思いがあるため、事業は現状維持とする。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02371_03			
事業名(行目名称)		地域コミュニティ再生事業費	細事業名	地域コミュニティ再生事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実				
	基本計画	地域再生への体制づくり	担当課	地域コミュニティ課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内の自治会数		数値	300			
	手段(どうやって)	新居浜市連合自治会が実施する防犯灯維持管理事業、新居浜市連合自治会活動事業(総会、研修事業、金婚式及び自治会役員表彰事業、自治会加入促進事業、女性部活動事業、愛媛県自治連合会に関する事業等)、新居浜市広報活動事業(市政だよりの配布、その他の広報活動及び自治会事務支援)、ごみ減量化等啓発事業(ごみ収集カレンダーの配布、ごみ分別辞典の配布)、コミュニティ活性化事業(花いっぱい運動、意欲のある地域で取り組むソフト事業)に対し、交付金を交付する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市連合自治会が、地域コミュニティ再生のため主体的に地域の活性化を図るとともに、市民の福祉の向上と市政の発展に資するために実施する事業に対する報償として、予算の範囲内で交付金を交付することにより、市民と行政の協働によるまちづくりを推進する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	防犯灯維持管理事業 13,745千円 コミュニティ活性化事業 15,300千円 広報活動事業 28,126千円 ごみ減量化等啓発事業 450千円 連合自治会活動事業 586千円 れんじメール送付事業 330千円		
経費		54,034	58,537	58,537	54,774			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
一般財源		54,034	58,537	58,537	54,774			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
自治会加入率			目標値	72	72	70	70	65
			実績	62.1	60.1	60.1	57.9	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、コミュニティ活性化事業交付金を活用して実施していた地域行事が中止又は延期となっている。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
新型コロナウイルス感染症の影響は懸念されるが、予算要求は昨年同様とする。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
コミュニティ活性化事業を活用して、防災対策や地域課題の解決に向けて、各校区が様々な団体と連携して、地域の実情に応じた事業が展開され地域コミュニティの活性化が図られていることから、今後も引き続き効果的な事業の実施により、地域主体のまちづくりを進める。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	02474_01	
事業名(行目名称)		地域おこし協力隊推進費	細事業名	地域おこし協力隊推進事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実			
	基本計画	地域再生への体制づくり	担当課	別子山支所			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地域住民		数値	130		
	手段(どうやって)	地域おこし協力隊員を3名採用し、別子山地域の自然を利用した魅力ある特産品からなる「別子山ブランド」を創出し、新たな移住者にも対応できる地域内の雇用先及び収入確保ができる事業の創出を通じて定住人口や交流人口の増加を図るため、地域おこし協力隊の活動費を行政が予算措置する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	人口減少及び少子高齢化の進行が著しい本市の別子山地域において、地域外の人材を積極的に誘致し、地域おこし協力隊を設置し、地域力の維持及び強化並びに地域の活性化を図るとともに、その人材の定住及び定着を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	報酬3名分 7,847千円 共済費 1,332千円 旅費 390千円 需用費 735千円 使用料及び賃借料 1,261千円 ほか	
経費		9,513	11,914	11,914	8,089		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
一般財源		9,513	11,914	11,914	8,089		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
任期終了後の定住者数(累計)			目標値	3	4	5	5
			実績	3	3	4	4
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
現在までに別子山地域に導入した地域おこし協力隊は累計で8名となっており、退任した6名のうち4名は引き続き市内に定住している。(令和3年9月末時点)							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
過疎化が進み若年・中年層の人材が不足する別子山地域において、地域の活力維持・強化および人材の定着を図るため、協力隊を増員する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
令和3年度は、新規隊員2名が入隊し、3名で活動を行った。今後も関係機関と連携を図りながら、地域の活性化に取り組み、定住に繋げていく。また地域からの要望を考慮し隊員の増員を検討する。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02474_02		
事業名(行目名称)		地域おこし協力隊推進費	細事業名	地域おこし協力隊推進事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実			
	基本計画	地域再生への体制づくり	担当課	別子山支所			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	地域おこし協力隊	数値	3			
	手段(どうやって)	平成26年度から別子山地域において導入された地域おこし協力隊の市営住宅家賃を補助する。また、起業(開業、就農など)に際し要する経費の一部を補助する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域おこし協力隊の市営住宅家賃、起業に要する経費の一部を補助することにより、日常経費の負担を軽減する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		528	624	624	400	家賃補助3名分 624千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	528	624	624	400		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
任期終了後の定住者数(累計)		目標値	3	4	5	5	5
		実績	3	3	4	4	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
現在までに別子山地域に導入した地域おこし協力隊は累計で8名となっており、退任した6名のうち4名は引き続き市内に定住している。(令和3年9月末時点)							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
協力隊が円滑に活動できるよう家賃補助を継続するほか、令和4年6月で任期終了となる隊員に対し起業支援補助を行う。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		C: 事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
令和3年度は、新規隊員2名が入隊し、3名で活動を行った。今後も関係機関と連携を図りながら、地域の活性化に取り組み、定住に繋げていく。また地域からの要望を考慮し隊員の増員を検討する。また、令和4年6月末に任期満了となる隊員に対して起業支援補助を行う。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02510_04		
事業名(行目名称)		地域づくり促進事業費	細事業名	協議会型地域運営組織モデル事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実			
	基本計画	地域再生への体制づくり	担当課	地域コミュニティ課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	モデル校区(地域)	数値	2			
	手段(どうやって)	住民が主体となったまちづくりの推進のため、概ね旧小学校区を単位とした自治会、地域で活動する各種団体、学校、企業などが連携して、地域課題の解決に向けて取り組むしくみを作り、住民自治組織の円滑な運営と地域の特性を活かした地域づくりを支援する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	支え合い助け合う地域づくりと地域住民による自治の実現を目指し、地域内の様々な分野の団体等が連携・協力し合える仕組みづくりをする。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	時間外手当 704千円 地域コミュニティアドバイザー招聘費用 153千円 モデル事業交付金 1,000千円 モデル事業地域担当関連費用 302千円 その他 5千円	
経費		0	2,164	2,164	1,178		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	2,164	2,164	1,178		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
地域づくりモデル事業実施数 (準備会等開催回数)		目標値	0	0	12	24	24
		実績	0	0	10	19	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
コロナ禍により事業開始が遅れたが、6月からは事業は順調に進めることができている。事業初年度のため、課題を洗い出している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
住民数が多い校区ではモデル事業実施が困難となるため、住民数の多い校区については交付金を増額する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和3年度から2か年の予定で、地域づくり事業(モデル事業)として取り組みを進めている2校区においては、勉強会の開催、設立準備会(仮称)の立ち上げ、地域課題や地域資源、地域の魅力の洗い出しと現状把握、住民アンケート等を実施しており、現在、地域まちづくり計画(ビジョン)の策定中であり、地域まちづくり組織の設立に向けて、引き続き取り組んでいる。モデル地区による取組状況やモデル地区での検討から見えてくる課題を改善し、そのプロセスや成果を公開し、市内の全ての地区への展開を目指していく。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	07193_01	
事業名(行目名称)		別子山未来プロジェクト事業費		細事業名	別子山未来プロジェクト事業補助金		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	地域コミュニティの充実		
	基本計画	地域再生への体制づくり		担当課	別子山支所		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地域住民(別子校区連合自治会)			数値	130	
	手段(どうやって)	別子山REBORN未来プロジェクト事業継続のため、ランニングコストの一部補助					
	目的(どんな状態にしたいのか)	総務省交付金により平成26年度から開始した別子山REBORN未来プロジェクト(サトウカエデ育成事業・朝鮮人参栽培事業等)の継続					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	借地料 60千円 報償費 80千円 需用費等 700千円 ほか	
経費		923	1,000	1,000	1,000		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	923	1,000	1,000	1,000		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
プロジェクトのうち、成果のあった事業 (販売実績等のあった事業)			目標値	2	2	2	2
			実績	1	1	0	0
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
朝鮮人参については露地栽培を中止し簡易ハウスを設置して一苗ごとのポット栽培に取り組み、翌年度以降の出荷を目指している。サトウカエデについては樹液採取(メーブルシロップ)に向けて園地の管理(除草、施肥等)を行っているほか、今年度から野菜づくりにも取り組んでいる。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
新しい別子山地域のブランド開発に向けて取り組んでいるが、朝鮮人参、サトウカエデともに成果獲得には一定期間を要することが想定され、今後は冷涼な気候を活かした野菜づくりにも取り組んでいくため、引き続き地域の活性化を支援する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		B: 事業の進め方の改善検討				
朝鮮人参については、簡易ハウスを設置して一苗ごとのポット栽培に取り組んでおり、生産性の向上に期待される。今年度よりブルーベリーや野菜作りにも取り組んでいるが、出荷まで至っていない。							